

乾癬と メタボリックシンドローム

帝京大学医学部皮膚科学講座 多田 弥生

KEY WORDS

- 乾癬
- メタボリックシンドローム
- 心血管イベント
- アディポカイン

はじめに

乾癬患者に肥満が多いことは以前から指摘されていたが、最近5年間で、乾癬の病態と肥満との関連性が明らかになってきた。乾癬の皮疹あるいは関節の炎症といった目にみえる炎症が、脂肪細胞を主体とする目にみえない炎症と病態としてつながっており、結果として血管内皮細胞障害、動脈硬化を促進し、心筋梗塞のリスク増大をもたらすというものである。「乾癬マーチ」としても知られるようになった概念で、本稿で概説したい。

I. 乾癬で多い肥満

乾癬患者では確かに肥満が多く、肥満が乾癬あるいは関節症性乾癬の発症リスクを増すことがわかってきた¹⁾。米国の女性乾癬患者において体重増加と乾癬の相対危険度を検討した報告では、18歳以降での15.9kg以上の体重増

加は有意に乾癬発症のリスクを増し、また、4.5kgごとの体重増加に伴い相対危険度が上がることもわかった²⁾。関節症性乾癬においても、米国女性を対象とした研究で、18歳以降の体重増加は関節症性乾癬の発症リスク上昇につながることが報告されている³⁾⁴⁾。

肥満は発症のみならず、乾癬や関節症性乾癬の重症度、治療抵抗性とも関係がある⁵⁾⁷⁾。減量することで皮疹が軽快する、治療への反応性がよくなるといったこともあり⁸⁾、乾癬治療において、肥満患者の減量指導は重要な生活指導となりつつある。ダイエット時、特に脂質異常の改善と乾癬の改善が関連しているとの報告⁹⁾、脂質異常症自体がBMI(body mass index)などの要素を補正してもなお、乾癬と関節症性乾癬のリスク因子となっているとの報告¹⁰⁾もあり、肥満に併存する疾患のうち、乾癬の発症、増悪と、特に脂質異常との深い関連性が示唆されている。

Relationship between psoriasis and metabolic syndrome.
Yayoi Tada (准教授)